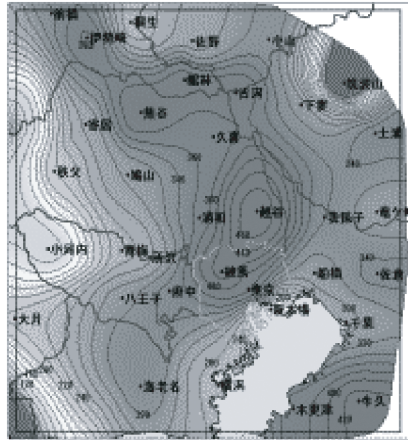


ヒートアイランドのデータ

■ヒートアイランド現象のデータ

出典：東京都環境局

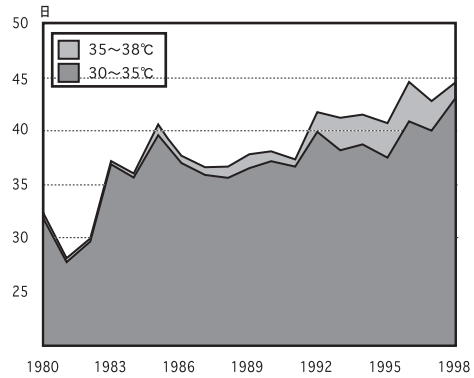
・高温域の分布



都市周辺の気温分布は、都心では郊外より高く、等温線を描くと同心円状の分布を示します。

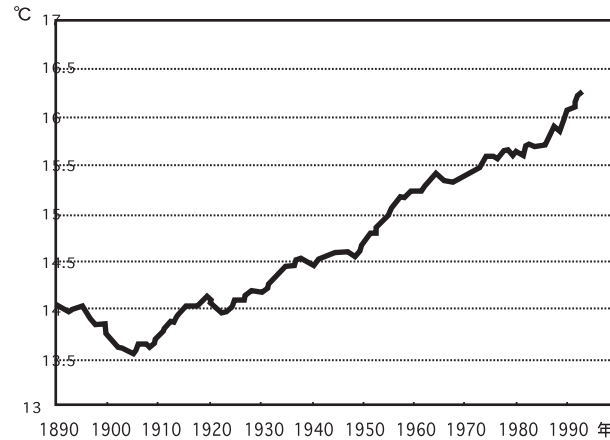
・東京の真夏日の推移

最高気温が30℃を超える日数（7～9月、5年移動平均）



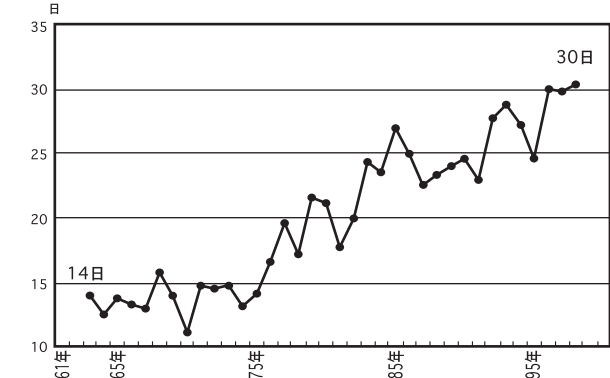
夏場の最高気温が30℃を超える日数をみると、近年の増加傾向が明らかです。特に90年代に入ってから、35℃以上の日数も増加しています。

・東京の年平均気温の推移



東京の年平均気温は、過去100年で2.9℃の上昇がみられ、他の大都市の2.4℃、中小規模の都市の1℃に比べて大きな上昇です。

・東京の熱帯夜の推移

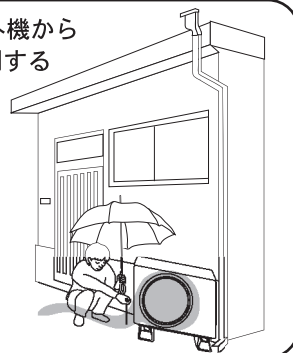


熱帯夜の日数は、5年移動平均で年間30日を超えるようになり、確実に増加しています。

■調査方法

●熱源調査 ～身の周りにある熱源を探し温度を計測します。～

(例1) エアコンの室外機から出る温風を計測する

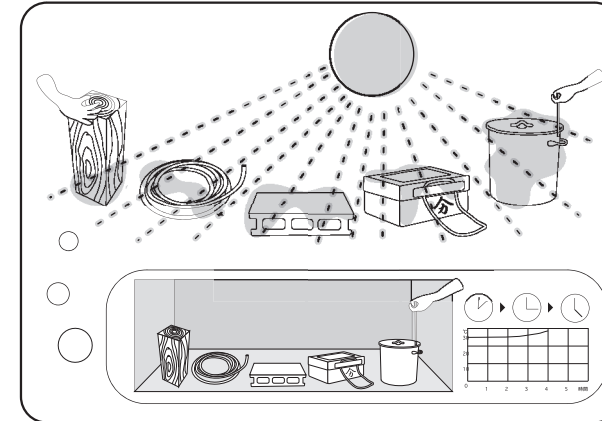


(例2) 自動販売機から出る熱を計測する。



●素材と熱の調査

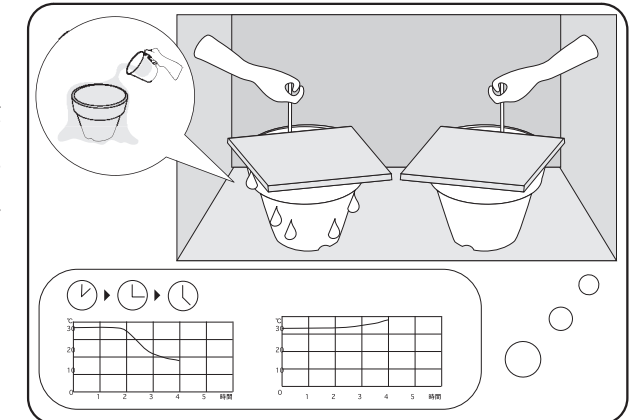
素材による温度の違いを調べます。



木、ゴム、コンクリート、発泡スチロール、金属など、さまざまな素材でできたものを用意します。直射日光下での表面温度の違いを、手で触って直接感じたり、温度計を使って計測します。直射日光で十分に暖まった素材を日陰に入れ、時間の経過と温度の変化（蓄熱の様子）を計測し、データをグラフにしてみましょう。

●気化熱実験

素焼きのワインクーラーもしくは植木鉢を2つ用意し、1つは水に漬けて湿らせます。容器を日かげに置き温度計を入れ、ふたを閉めて中の温度の変化を見てみましょう。温度変化を記録してグラフにします。



■発展のしかた

●緑地の保全について考える

緑地の持つさまざまな機能や効果を知り、その保全方法や意味について考えを深めます。自分たちの地域の緑地を取り上げることで、より具体的な学習につながります。

【参考ホームページ】

・（財）都市緑化基金 <http://www.urban-green.or.jp/>

●地球温暖化について考える

地球温暖化現象の現状とメカニズムを知り、自分たちの生活とのつながりを考えます。また、ライフスタイルの見直しに目を向けるきっかけとなります。

【参考ホームページ】

・全国地球温暖化防止活動推進センター <http://www.jccca.org/>

・環のくらし

<http://www.wanokurashi.ne.jp>